愛の手で あなたをつつむ 被害者支援

会報 ふくしまの空

発行　公益社団法人ふくしま被害者支援センター
〒960-8002　福島市森合町 14-6 第三福島トヨタビル２Ｆ
事務局　TEL&FAX　024-533-7830

臨床心理士としての被害者支援について

公益社団法人 ふくしま被害者支援センター
副理事長　酒　井　芳　子
（福島県臨床心理士会副会長）

平成11年に福島県警察被害者カウンセラーとして５名の臨床心理士が委嘱されました。正式に被害者支援に臨床心理士が関わるようになったのはこの時からだと思います。

福島県警でも被害者の方への支援を重視し、動き出した時期だったように思います。被害を受けられた方達をどのように支援していくべきか、臨床心理士も県警の方達も手探りの状況でしたがみんな熱心に取り組んでいたように思います。

性被害に遭われた方達が当初は多く、初回面接の時、話すこともよく出来ない状態の方もいらっしゃいました。傍についてその恐怖や大変だった思いを察し、時間を共にしたこともありました。

警察での支援は初期の対応ということで面接回数もある程度制限がありました。その回数の範囲でどう有効に面接をしていくか、私達はいろいろと考え行ってきました。被害を受け少しでも気持ちが落ち着くのにかなり時間は必要でした。また、少し時間が経っても再度不安定な状態に陥ってしまう方もいました。そのため初期の対応と言われても数カ月の期間関わりを必要とされた方が多かったように思います。

高校生で性被害に遭われた方との面談も多く、どうやって普通の生活に戻していくかご本人ももちろん、ご家族もかなり悩まれていました。私達はご本人との面談だけでなく、ご家族の面談も並行して行っていきました。

次第に性被害の方ばかりでなく、交通事故の被害者や強盗、DVの被害者など様々な被害を受けた方々と面談するようになりました。その中で初期の対応だけでは足りないこと、また心理的な支援だけでは十分でない方達もいることがわかってきました。

数年経っても事件があった月が近付くと事件を思い出し、また気持ちが沈んだり、恐怖が蘇ってきたりして再度相談の電話を下さる方もいました。事件に遭ったことは事実として消えません。それを抱えながらその後の生活をどう送っていくか、それを少しでも支えていければと考えました。

そのような思いが出てきた頃にふくしま被害者支援センターの設立がなされました。長期間の支援も可能になり、裁判所への同行支援や法的な問題の支援など心理面の支援に加え幅広く種々の支援が可能になりました。また性被害の支援も強化し、産婦人科病院との連携が強まりました。

少しずつではありますが、犯罪被害者の方への支援がより多くできるようになってきたと思っています。今後もスタッフみんなでより良い支援ができるように努めていきたいと考えております。

支援の輪を広げるつどい2015
～社会全体で犯罪被害者を支えるために～

11月21日（土）午後１時から、福島市の県文化センターにおいて「被害者に優しいふくしまの風運動」“支援の輪を広げるつどい2015”が盛大に開催されました。

当県では、犯罪被害者等に対する県民一人ひとりの共感を得ることにより、社会全体で犯罪被害者等を支える機運を醸成し、犯罪や交通事故のない安全で安心できる地域社会を実現するため、「被害者に優しいふくしまの風運動」を年間を通して展開しています。

この運動の一環として犯罪被害者の支援イベント「支援の輪を広げるつどい」を開催し、より一層、犯罪被害者支援に対する県民の方々の意識を高め、犯罪被害者が一日でも早く平穏な生活を取り戻せるようにすることを目的としております。

つどいでは、はじめに共催者の県警察本部長、県知事（代理）、当センター理事長から挨拶、来賓の県公安委員長から祝辞をいただきました。

第二部では、山形県在住で交通事故により愛娘を失った渡邉理香さんから「伝えたい想い～通学路で起きた事故から～」の演題で基調講演があり、参加者に「命の大切さ」について訴え、感銘を与えておられました。

第一部で、東日本大震災の被災地の南相馬市のコーラスグループ「M・J・C（エム・ジェイ・シー）」から心に響く「支援コンサート」が披露された。第三部は県警察音楽隊による演奏が行われ、美しい歌声・素晴らしい演奏が会場いっぱいに披露されました。

多数参加していただいた交通安全母の会様、みやぎ被害者支援センター様、会場の設営や進行等にご協力をいただいた桜の聖母短期大学、大原看護専門学校、福島看護専門学校のボランティアの皆様、ありがとうございました。

多くの方々からご支援をいただき、つどいが成功裡に終了できましたことに感謝と御礼を申し上げます。

理事長挨拶

基調講演

支援員の皆さん

被害者に優しい「ふくしまの風」運動
～命の大切さを学ぶ授業～

この運動には「人づくり運動」があり、中学生・高校生に「自分・他人の命」の大切さを学ぶ「命の大切さを学ぶ授業」があります。

この授業は、心と命の大切さ、いじめ、暴力のない社会の必要性及び被害者等の人権や一人ひとりの人間を大切にすることを学ぶ授業です。

９月17日、須賀川市立西袋中学校（全校生徒275名）において交通事故被害者遺族の岡﨑照子氏から「私たちは愛されて生まれてきたたった一つの命」の演題で講演をいただき、「命の大切さ」を訴え、聴衆する中学生に感銘を与えました。

講演中

講演に対する生徒からのお礼の言葉

街頭広報活動状況

10月３日の「犯罪被害者支援の日」に当センターでは、JR福島駅東口広場において、県警察音楽隊の演奏と県警察本部・福島警察署の合同による、犯罪被害者支援の必要性や重要性、センター利用の促進と支援活動への積極的な参加を呼びかけました。

また、11月25日からの「犯罪被害者週間」では、県内４カ所（会津若松市・いわき市・郡山市・福島市）において、センター支援員が広報用チラシ等の配付と被害者支援と街頭募金を呼びかける広報活動を行いました。

（10月３日）被害者支援の日の広報活動

（11月25日）会津若松市　広報活動

（11月27日）いわき市　広報活動

（11月30日）郡山市　広報活動

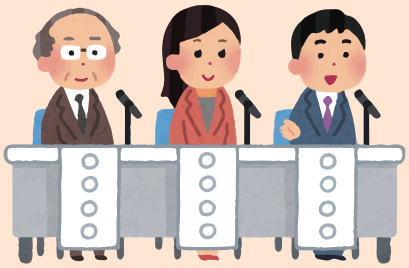
（12月１日）福島市　広報活動

仮設住宅居住者に対する広報支援活動

８月26日、南相馬市原町区牛越地内応急仮設住宅に居住する小高区民に対し、当センターの広報を行いました。

９月４日、いわき市四倉町鬼越地内、応急仮設住宅に居住する広野町民に対し、各戸を訪問して広報活動を行いました。

研修の実施



全体研修会の開催

支援員のスキルアップを図るため、９月29日西口クリニック婦人科の野口まゆみ院長を講師に招き「性暴力等被害者に対する産婦人科の対応」と題して講演をいただきました。

また、11月10日は、日本司法支援センター（法テラス）の担当者と福島地方検察庁次席検事からそれぞれ業務の説明を受けました。

（９月29日）全体研修会の状況

（９月29日）野口まゆみ院長の講演

（11月10日）法テラスの研修風景

（11月10日）福島地方検察庁の研修風景

秋期全国研修会に参加した支援員の声

この度、東京で開催された秋期全国研修会に参加してきた。

私が受講したのは「相談・支援における記録の書き方」と「支援者のメンタルヘルス」についてであり、記録の作成は支援員として電話相談を受ける上でも最も基本となる作業であるが、相談内容を同時に聴いても人によって受け止め方、感じ方が微妙に違い、相談の内容も時間が長くなるほど簡潔で濃密に記録することの難しさを感じた。

「支援者のメンタルヘルス」では、支援者の二次受傷は『誰がなっても不思議でない』と言うことであるが、予防策として一番は適度な運動、健康、趣味や仲間との交流、そして最も重要な私生活の安定で、自分が元気でないと支援活動は無理なので、これからも研修で学んだ内容を踏まえて支援活動に携わっていきたいと思う。

（60歳代・男性）

ふくしま被害者支援センターの
被害者支援活動を支えてくださる皆様

皆様からの心温まる善意に感謝を申し上げます。
（平成27年7月から、平成27年11月末までの間の寄付者等）

～皆様方の温かいご支援に支えられて～

～感謝状の贈呈～

「犯罪や交通事故の被害者の支援に役立てて欲しい。」との申し出で、当センターへ多額のご寄附をいただいた方に感謝状を贈呈しました。

次の方々から会費をいただきました。
犯罪等被害者支援活動に活用させていただきます。
ありがとうございました。

斎藤運輸工業株式会社
取締役会長　齋藤修一様

福島県民共済生活協同組合
代表理事　理事長　穴澤正行様

（順不同・敬称略）

個人						
福島方部	澤井　功	栗城　康夫	佐藤　厚子	佐藤　雅彦	鳴原　満穂	山岸　敦子
	蓬田　英樹	渡辺　敏幸	平栗　修	志賀　正達	大山フジエ	加藤　徹
福島北方部	吾妻　正好	川口　洋司	佐藤　律子			
伊達方部	尾形貴己雄					
郡山方部	小倉　章彦	鈴木　一利	波田野浩典			
郡山北方部	鈴木　昭佐	原　哲哉	星　正人			
須賀川方部	河治　武	喜多見　実	國分　宏子	佐藤　正彦	中丸　英樹	根本　良一
	橋本　宗男	山口　則義	渡部　豊彦	渡部　義邦	鵜巣美由紀	板橋　達哉	加藤　公太
	山口　昭吾					
白河方部	大山喜代志	加藤　剛	佐藤　光也	宍戸　英俊	本田　広美	吉田　幸雄
	吉村　重夫					
棚倉方部	高橋　伸二					
会津若松方部	玉川　和子	武藤みや子	横山　謙治	中山　健一		
喜多方方部	内藤　恒久					
いわき中央方部	菅原　裕介	須藤　雪子	小野　善明			
相馬方部	佐藤　好孝					
南相馬方部	佐藤　実					

法人・団体			
福島方部	株式会社アトムテック	株式会社阿部紙工	株式会社ぱるる福島支店
	株式会社日進堂印刷所	株式会社第一印刷	福島県レンタカー協会
	斎藤運輸工業株式会社	福島県民共済生活協同組合	
福島北方部	福島県農業協同組合中央会	郡山北方部　林精器製造株式会社	
須賀川方部	須賀川地区警察官友の会		
白河方部	白河自動車学校	木村可鍛株式会社	
棚倉方部	塙厚生病院	喜多方方部　喜多方自動車教習所	
いわき東方部	第一三共ケミカルファーマ株式会社 小名浜工場	株式会社日本海水	
南相馬方部	関場建設株式会社		

※　個人情報保護を目的としてご芳名は希望される方のみとさせていただいております。

犯罪被害者を支援する
寄付型自動販売機の設置にご協力を！

当センターでは、被害者支援活動の充実を図るため、活動資金確保の一環として事業主様のご協力により清涼飲料水を販売する被害者支援（寄付型）自動販売機を11月末現在35台設置されております。

被害者支援（寄付型）自動販売機を設置していただいている事業所

～ご協力ありがとうございます。～　（平成27.11末現在）　（順不同・敬称略）

伊達物産㈱（伊達市）	㈲勿来新聞サービス（いわき市）	つばめ・ザ・ビーム相馬店（相馬市）
㈱福島銀行（福島市）	国際アート＆デザイン専門学校（郡山市）	郡山ビジネス専門学校（郡山市）
森本建設㈱（棚倉町）	特別養護老人ホーム宮川荘（会津美里町）	総合葬祭㈱あおき（白河市）
盛英自動車㈱（いわき市）	㈱倉島商店（福島市）	アルファクラブさがみ典礼（会津若松市）
特別養護老人ホーム サニーポート小名浜（いわき市）	ニチイケアセンター東中央（福島市）	庄司建設工業㈱（南相馬市）
斎藤運輸工業㈱（川俣町）	関場建設㈱（南相馬市）	日本製紙㈱勿来工場（いわき市）
猪苗代生コン（猪苗代町）	東進建設工業㈱（猪苗代町）	医療法人　佐原病院（喜多方市）
大成建設㈱福島復興総合事務所（川俣町・福島市）	福島空港運輸㈱（須賀川市）	㈱ホンシュウ本社工場（鏡石町）
㈱ホンシュウ天栄工場（天栄村）	㈱ホンシュウ長沼工場（長沼町）	㈱野馬追の里（南相馬市）

被害者支援自動販売機の設置協力企業

- ダイドードリンコ
- 仙台コカコーラ・ボトリング
- ㈱サンベンディング東北
- ジャパンビバレッジH・D
- サントリービバレッジ㈱
- ㈱サンベンディング相双
- キリンビバレッジ㈱
- 伊藤園

ふくしま被害者支援センターは

犯罪等による被害者やその家族、遺族の方々の被害の早期回復等の拠り所として

- ☆ **電話や面接による相談**
- ☆ **裁判所や警察、病院等への付添い**
- ☆ **弁護士会、産婦人科医会等の関係機関・団体と連携しての支援**
- ☆ **犯罪被害者等給付金申請についてのアドバイス**
- ☆ **被害者同士の交流の場（自助グループ）の提供**

を行っています。

電話相談・支援受付時間

犯罪や事故の被害に関する相談

024－533－9600

〔相談受付時間〕
月曜日から金曜日（祝祭日、年末年始を除く。）
午前10時から午後４時まで。

SACRAふくしま（性暴力等被害相談）

023－533－3940
サ クラ シ エン

〔相談受付時間〕
月曜日から金曜日（祝祭日、年末年始を除く。）
午前10時から午後４時まで。
但し月・水・金曜日は午後８時まで。

相談無料・秘密厳守

賛助会員募集中

当センターは、活動経費の多くが皆様の会費、ご寄付により運営されています。

年会費　○ 個人…1口　2,000円より　○ 法人・団体…1口　10,000円より

福島県公安委員会指定「犯罪被害者等早期援助団体」　**公益社団法人ふくしま被害者支援センター**

〒960-8002　福島市森合町14-6 第二福島トヨタビル2F（福島中央郵便局向かい）　TEL／FAX 024-533-7830

＊当センターは公益法人です。会費を納めたり、寄付をした場合は税法上の優遇措置があります。
＊寄付は金額を問いません。

編集後記

新しい専務の下に船出した「ふくしま被害者支援センター丸」も半年がたち、滞りなく業務を行って来ました。
会報の発行も、編集者一同が一丸となり会員の皆様にセンターの情報を、いちはやく発信するよう努めてまいります。
なお、本会報に対するご意見・ご叱責を頂ければ幸いです。

Supported by 日本財団 THE NIPPON FOUNDATION